



## 平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月10日

上場会社名 旭硝子株式会社

上場取引所 東大

コード番号 5201 URL <http://www.agc.com>

代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 石村 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 上田 敏裕

TEL 03-3218-5603

四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	285,376	△7.5	24,182	△55.3	23,620	△59.3	17,749	△53.8
23年12月期第1四半期	308,591	△2.1	54,135	0.4	57,974	3.4	38,439	△3.3

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 89,223百万円 (47.3%) 23年12月期第1四半期 60,590百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	15.36	14.22
23年12月期第1四半期	32.94	30.53

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	1,865,870	924,352	47.1
23年12月期	1,691,556	850,460	47.7

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 878,763百万円 23年12月期 807,432百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	13.00	—	13.00	26.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	600,000	△2.2	60,000	△39.6	60,000	△41.7	35,000	△38.6	30.28
通期	1,250,000	2.9	140,000	△15.5	135,000	△19.0	80,000	△16.0	69.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、[添付資料]5ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期1Q	1,186,705,905 株	23年12月期	1,186,705,905 株
② 期末自己株式数	24年12月期1Q	30,773,268 株	23年12月期	30,766,499 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期1Q	1,155,936,143 株	23年12月期1Q	1,166,950,296 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビューは終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績とは異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、補足資料を作成しており、当社ホームページに掲載しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
(4) 追加情報 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) セグメント情報等 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### ①2012年12月期第1四半期連結累計期間の概況

当第1四半期連結累計期間（2012年1月1日から2012年3月31日まで）における当社及び関係会社（以下、当社グループという）を取り巻く世界経済は緩やかな回復基調にあります。欧州の財政・金融問題の影響に加え、新興国での輸出及び内需の拡大が鈍化したことにより景気回復の動きが弱まりました。

日本においては、輸出が低調に推移したものの、東日本大震災以降、低迷していた個人消費が持ち直し景気は緩やかに回復しました。アジアにおいては、輸出と個人消費の増加により景気は堅調に推移しました。アメリカにおいては、住宅着工戸数の低迷が続いていますが、個人消費に支えられ景気は緩やかに回復しました。一方、欧州においては、高い失業率と個人消費の落ち込みが続く中、各国の財政緊縮の影響もあり景気は引き続き減速しました。

このような環境の下、当社グループのガラス、化学品関連製品については日本、アジアを中心に出荷が増加しましたが、電子関連製品の価格下落や原燃材料の価格上昇により、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前第1四半期連結累計期間比232億円（7.5%）減の2,854億円、営業利益は同300億円（55.3%）減の242億円、経常利益は同344億円（59.3%）減の236億円、四半期純利益は同207億円（53.8%）減の177億円となりました。

#### ②2012年12月期第1四半期連結累計期間の報告セグメント別の概況

##### ○ガラス

建築用ガラスの出荷は、日本では震災影響を受けた前年同期に比べ増加し、アジアにおいても堅調に推移しました。欧州では西欧を中心に経済環境悪化の影響を受け、また北米では需要が引き続き低迷していることから、それぞれ出荷は前年同期に比べ減少しました。ソーラー用ガラスの出荷は市場成長の鈍化などにより減少しました。これらの結果、建築用及びソーラー用ガラスを合わせた板ガラスは、前年同期と比べ減収となりました。

自動車用ガラスは、欧州では経済環境悪化の影響を受け自動車生産台数は前年同期に比べ減少したものの、当社の出荷は堅調に推移しました。日本、アジア、北米においては自動車生産台数が堅調に推移したことから出荷は増加し、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果から、当第1四半期連結累計期間のガラスの売上高は前第1四半期連結累計期間比21億円（1.5%）増の1,392億円、営業利益は同57億円（88.2%）減の8億円となりました。

##### ○電子

表示デバイス用ガラス基板の出荷は昨年第4四半期より回復基調を継続していますが、前年同期と比べると減少しました。また、製品価格の下落幅も拡大したことから前年同期と比べ減収となりました。

電子部材は、オプトエレクトロニクス用部材のうちデジタルカメラ向け製品の出荷は前年同期と比べ増加したものの、半導体関連製品は需要が低迷していることから出荷は減少し、電子部材全体としては前年同期と比べ減収となりました。

以上の結果から、当第1四半期連結累計期間の電子の売上高は前第1四半期連結累計期間比283億円（26.6%）減の780億円、営業利益は同246億円（57.8%）減の180億円となりました。

##### ○化学品

クロールアルカリ・ウレタンは、日本では震災影響を受けた前年同期に比べ出荷は回復し、アジアでの出荷は引き続き堅調に推移したことから、前年同期と比べて増収となりました。フッ素・スペシャリティでは、高機能フッ素樹脂や医薬中間体・原体の出荷が堅調に推移し前年同期と比べ増収となりました。

以上の結果から、当第1四半期連結累計期間の化学品の売上高は前第1四半期連結累計期間比27億円（4.5%）増の628億円、営業利益は同6億円（12.4%）増の53億円となりました。

なお、各報告セグメントに属する主要な製品の種類は以下のとおりです。

報告セグメント	主要製品
ガラス	フロート板ガラス、型板ガラス、網入り磨板ガラス、Low-E（低放射）ガラス、建築用加工ガラス（断熱・遮熱複層ガラス、安全ガラス、防・耐火ガラス、防犯ガラス等）、自動車用強化ガラス、自動車用合わせガラス、ソーラー用ガラス、産業用加工ガラス、装飾ガラス等
電子	表示デバイス用ガラス基板、ディスプレイ用特殊ガラス、ディスプレイ用周辺部材、光学薄膜製品、オプトエレクトロニクス用部材、合成石英製品、ガラスフリット・ペースト、半導体製造装置用部材、照明用製品等
化学品	塩化ビニル原料、苛性ソーダ、ウレタン原料、ガス、溶剤、フッ素樹脂、撥水撥油剤、医薬農薬中間体・原体、ヨウ素製品、電池材料等

上記製品の他、当社は、セラミックス製品、物流・金融サービス等も扱っています。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ○総資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1,743億円増の18,659億円となりました。これは主に、手元資金の増加や円安により為替換算後の有形固定資産等が増加したことによるものです。

### ○負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比1,004億円増の9,415億円となりました。これは主に、社債の償還等に備えるための借入により有利子負債が増加したことによるものです。

### ○純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度比739億円増の9,244億円となりました。これは主に、円安により為替換算調整勘定が増加したことに加え、上場株式の株価上昇に伴いその他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

(億円：千万単位四捨五入)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期(2012年12月期)	12,500	1,400	1,350	800
前期(2011年12月期)	12,147	1,657	1,667	953
増減率(%)	2.9	△15.5	△19.0	△16.0

2012年の世界経済は、全体として緩やかな成長を持続するもののそのペースは従前よりも緩慢なものとなる見込みです。

このような環境のもと、建築用ガラスの出荷は日本・アジアでは堅調に推移することが見込まれますが、北米での出荷は緩やかな回復にとどまる見込みであり、欧州では不透明な経済環境を反映して低調な出荷が継続する懸念があります。自動車用ガラスは、前期には東日本大震災やタイ洪水により影響を受けた出荷が当期は平常に戻ると予想されることや、新興市場での堅調な自動車需要が見込まれることから、出荷は前期に比較して増加する見込みです。ソーラー用ガラスは、一部の国での政府による導入促進策の圧縮・打ち切り等により太陽電池モジュールの設置量が減少し、出荷は軟調となることを見込まれます。

表示デバイス用ガラス基板の出荷は、昨年第4四半期以降回復に転じており、今後もその基調が継続する見込みです。電子部材については期後半から半導体関連市場が回復することが見込まれます。オプトエレクトロニクス用部材のうちデジタルカメラ向け製品の出荷は引き続き堅調となる見込みです。

化学品関連製品の出荷については、概ね堅調に推移する見込みです。

なお、エネルギー価格の上昇が当社グループ全体の損益に一定の影響を及ぼす可能性があります。

このような状況を踏まえ、当社グループの2012年通期の売上高は前期比353億円（2.9%）増の12,500億円、営業利益は前期比257億円（15.5%）減の1,400億円、経常利益は前期比317億円（19.0%）減の1,350億円、当期純利益は前期比154億円（16.0%）減の800億円を予想しています。

なお、通期の平均為替レートは、対米ドル円為替レート75円、対ユーロ円為替レートを100円と想定しています。

《見通しに関する留意事項》

前述の業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみで全面的に依存して投資判断を下すことはお控え下さいようお願いいたします。実際の業績は、当社グループの事業領域をとりまく経済環境、市場の動向、為替レートなど様々な要素により、見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(税金費用の計算)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 2009年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 2009年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2012年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	98,789	101,682
受取手形及び売掛金	233,675	230,458
有価証券	25,000	74,000
商品及び製品	81,860	91,231
仕掛品	42,541	46,866
原材料及び貯蔵品	69,922	75,548
その他	59,977	86,374
貸倒引当金	△4,993	△4,994
流動資産合計	606,774	701,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	523,917	546,193
減価償却累計額	△288,272	△298,350
建物及び構築物（純額）	235,645	247,843
機械装置及び運搬具	1,443,637	1,532,290
減価償却累計額	△1,020,838	△1,069,825
機械装置及び運搬具（純額）	422,798	462,465
その他	108,910	112,947
減価償却累計額	△89,039	△91,615
その他（純額）	19,871	21,331
土地	76,382	78,515
建設仮勘定	87,865	86,404
有形固定資産合計	842,563	896,560
無形固定資産		
のれん	15,721	15,956
その他	21,386	22,587
無形固定資産合計	37,108	38,543
投資その他の資産		
投資有価証券	148,350	182,197
その他	59,352	50,723
貸倒引当金	△2,592	△3,321
投資その他の資産合計	205,110	229,599
固定資産合計	1,084,781	1,164,703
資産合計	1,691,556	1,865,870

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2012年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	112,448	118,542
短期借入金	47,552	48,785
コマーシャル・ペーパー	13,369	14,956
1年内償還予定の社債	40,078	39,976
1年内償還予定の新株予約権付社債	50,000	50,000
未払法人税等	9,220	11,761
引当金	14,828	20,622
その他	131,910	137,885
流動負債合計	419,410	442,531
固定負債		
社債	92,014	92,196
新株予約権付社債	50,000	50,000
長期借入金	184,485	255,442
退職給付引当金	58,591	59,789
その他の引当金	10,192	13,651
その他	26,401	27,906
固定負債合計	421,684	498,985
負債合計	841,095	941,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,873	90,873
資本剰余金	96,961	96,961
利益剰余金	812,533	815,254
自己株式	△29,888	△29,891
株主資本合計	970,480	973,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,910	39,395
繰延ヘッジ損益	47	785
為替換算調整勘定	△183,005	△134,615
その他の包括利益累計額合計	△163,047	△94,434
新株予約権	1,584	1,591
少数株主持分	41,444	43,997
純資産合計	850,460	924,352
負債純資産合計	1,691,556	1,865,870

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2011年1月1日 至 2011年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年3月31日)
売上高	308,591	285,376
売上原価	201,416	204,380
売上総利益	107,175	80,996
販売費及び一般管理費	53,039	56,814
営業利益	54,135	24,182
営業外収益		
受取利息	334	292
受取配当金	164	159
為替差益	3,746	—
持分法による投資利益	630	674
その他	833	536
営業外収益合計	5,710	1,663
営業外費用		
支払利息	1,464	1,498
為替差損	—	38
その他	406	688
営業外費用合計	1,871	2,225
経常利益	57,974	23,620
特別利益		
固定資産売却益	124	318
事業構造改善引当金戻入額	109	—
受取保険金	—	9,641
その他	53	483
特別利益合計	288	10,444
特別損失		
固定資産除却損	872	1,926
減損損失	—	1,213
災害による損失	4,179	—
事業構造改善費用	249	4,102
その他	760	2,185
特別損失合計	6,062	9,428
税金等調整前四半期純利益	52,201	24,636
法人税等	12,761	5,574
少数株主損益調整前四半期純利益	39,439	19,061
少数株主利益	999	1,311
四半期純利益	38,439	17,749

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2011年1月1日 至 2011年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	39,439	19,061
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,815	19,491
繰延ヘッジ損益	896	738
為替換算調整勘定	21,784	49,455
持分法適用会社に対する持分相当額	284	476
その他の包括利益合計	21,150	70,162
四半期包括利益	60,590	89,223
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,268	86,362
少数株主に係る四半期包括利益	1,321	2,861

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2011年1月1日 至 2011年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス	電子	化学品				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	136,898	105,879	59,429	6,384	308,591	-	308,591
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	219	445	649	11,606	12,920	(12,920)	-
計	137,118	106,324	60,079	17,990	321,512	(12,920)	308,591
セグメント利益 (営業利益)	6,446	42,562	4,714	324	54,047	88	54,135

注 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セラミックス製品等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額88百万円には、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等が含まれております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2012年1月1日 至 2012年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス	電子	化学品				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	138,760	77,804	62,039	6,771	285,376	-	285,376
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	481	238	759	18,233	19,713	(19,713)	-
計	139,242	78,043	62,799	25,005	305,090	(19,713)	285,376
セグメント利益 (営業利益)	760	17,956	5,300	276	24,293	(111)	24,182

注 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セラミックス製品等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△111百万円には、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等が含まれております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。